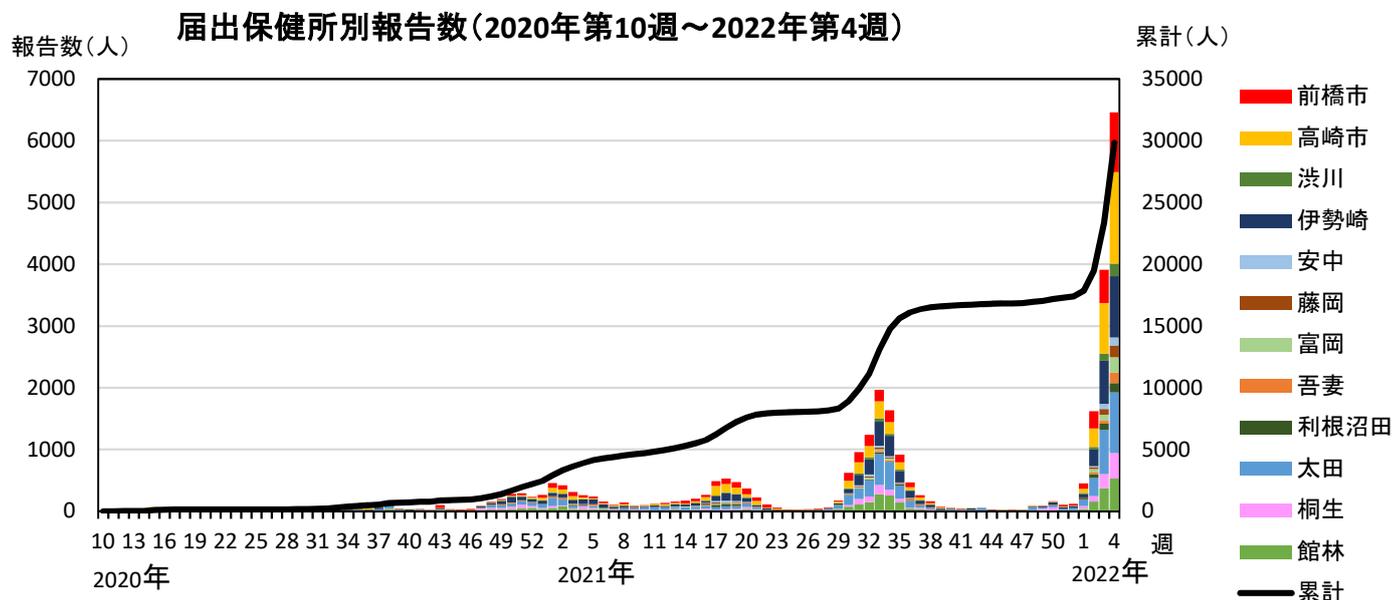


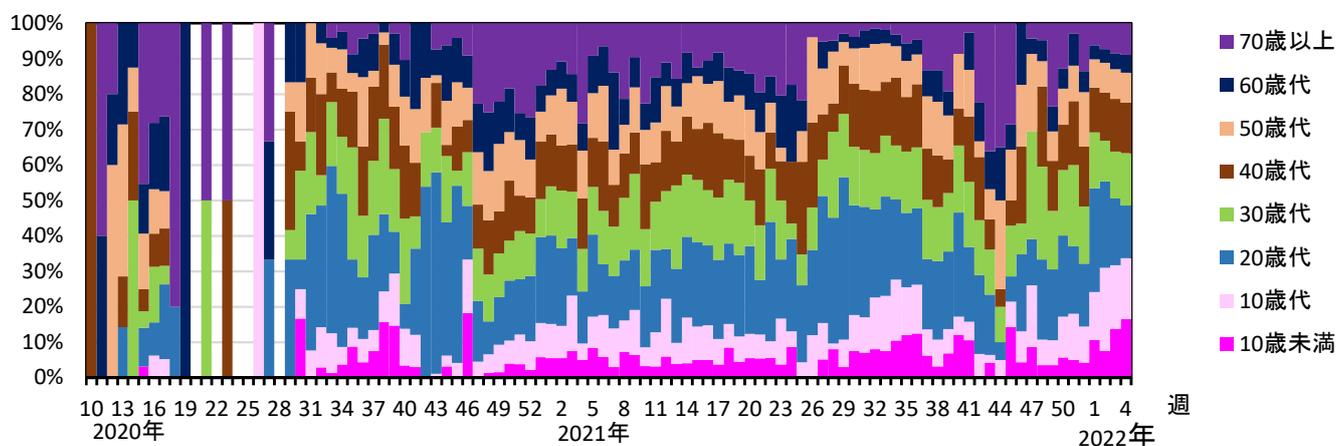
● 新型コロナウイルス感染症 (2022年2月1日 13:00現在 暫定値)

【2022年第4週 (~1月30日) まで】

県内で報告された新型コロナウイルス感染症患者は、男性16,144名、女性13,683名、計29,837名でした。



年齢群別報告数割合(2020年第10週~2022年第4週)



【1月 (~30日まで)】

- ◆ 報告数は12,452名で、12月の報告数498名から大幅に増加しました。届出保健所別では、高崎市が最も多く2,674名(21%)、次いで太田2,101名(17%)、伊勢崎2,020名(16%)、前橋市1,879名(15%)でした。
- ◆ 年齢群別報告数は、10歳代が2,252名、20歳代が2,224名で、それぞれ18%でした。40歳代が1,778名、30歳代が1,731名、10歳未満が1,774名で、それぞれ14%でした。0歳から40歳代までで78%を占めています。

【参考：新型コロナウイルス感染症患者発生状況(1月31日公表)】

県内患者発生数29,860名 県内死亡者数：191名

国内患者発生数(感染者：厚労省発表)：2,669,638名

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について(Vol.15)

1) 新型コロナウイルス変異株 PCR 検査結果(2022 年 1 月 31 日現在)

(民間検査機関・医療機関で検査実施されたもの、解析不明は含まれず)

群馬県衛生環境研究所ではオミクロン株による流行を迅速に探知するため、令和 3 年 12 月 5 日から変異株 PCR 検査を開始しました。11～12 月の流行はデルタ株疑いでありましたが、令和 4 年 1 月からオミクロン株疑いが急増し、現在の流行株はオミクロン株へほぼ置き換わったと考えられます。今まで以上に感染性や伝播性の増加が懸念されることから、オミクロン株の特性に合わせた対策が重要です。

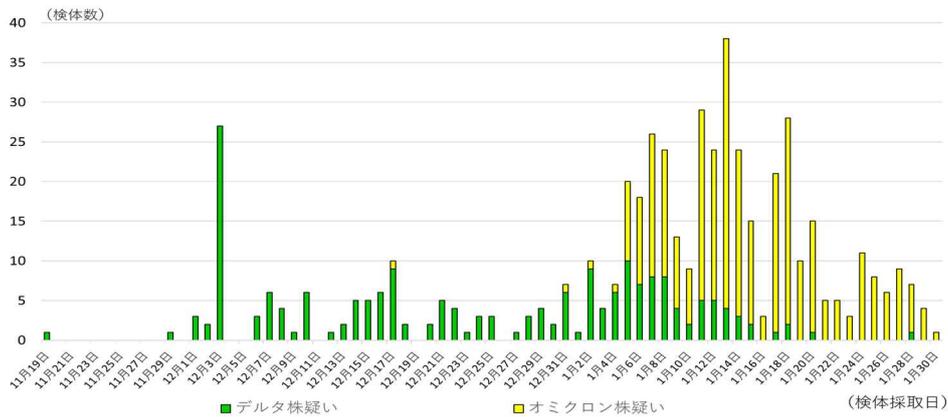


図1 衛生環境研究所で実施した変異株 PCR 検査結果
(1 月 14 日以降、全数検査から 5～10%の抽出検査に変更)

2) 新型コロナウイルスゲノム解析結果(2022 年 4 週(1 月 24 日～30 日)まで)

デルタ株 (AY.29、B.1.617.2 等) が 2021 年 19 週(5 月 10 日～16 日)に初めて検出され、29 週(7 月 19 日～25 日)以降、流行となりましたが、オミクロン株 (BA.1 等) は 50 週(12 月 13 日～19 日)に初めて検出され、2022 年 1 週(1 月 3 日～9 日)以降、主な流行となりました。

また渡航歴のある患者から BA.2 も検出されていますが、その後の拡大はみられていません。引き続きゲノム解析による流行の把握が重要と思われます。

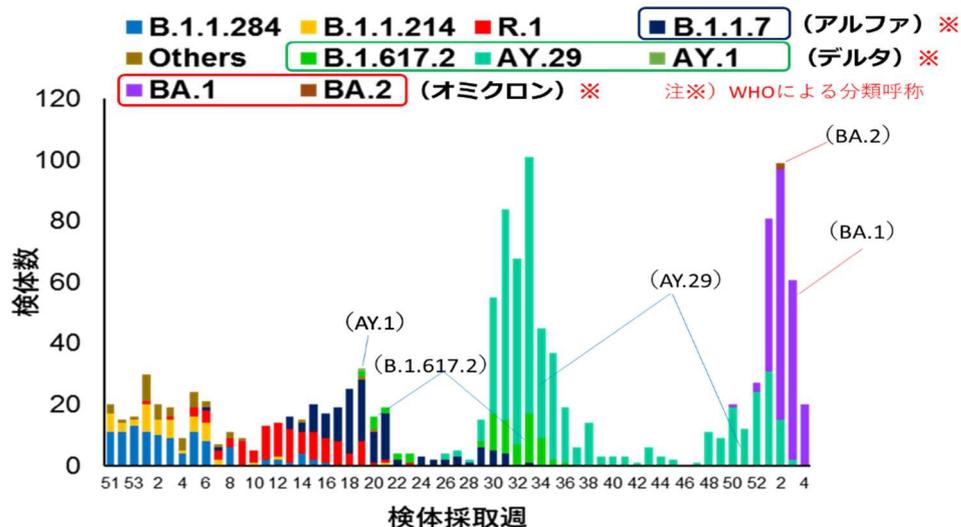


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析